

地域に根付いて15年

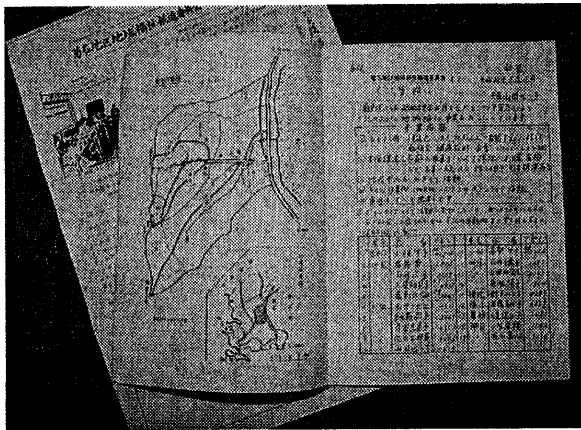
地域にしっかりと根付く（市社会福祉協議会）だ。き、支え合いの輪を広げて、その主体的な取り組みは、きた三浦市菊名地区地域福祉推進委員会。足かけ十五年、一人暮らしのお年寄りの年、「老人福祉関係のボランティア団体では最古参」る。



「ボランティアの責任を肝に銘じながらやってきた」と話す前会長の山田せつ子さん（右）と、今年に入りバトンタッチを受けた現会長の高梨ティさん

やすらぎと潤いを与え続けてきた委員会の足跡は、先ごろまとめられた記念冊子「私達のボランティア活動―十五年の歩み―」につづられている。

結成当初のメンバーは母親クラブOGの八人。現在では、十九人の主婦が活動班に名を連ね、住みよい地域を表現しようと汗を流し



メンバーの思いがひしひしと伝わってくる記念冊子。数に限りがあるが、希望者に配布するとう。問い合わせは山田さん ☎0468 (88) 0210



二月月に一回、地区内の

七十歳以上のお年寄りを集めて開く「なかよし会」はすでに八十六回を数えた。

三浦市菊名地区地域福祉推進委員会



86回目を迎えた今月のなかよし会。毎回、50人前後のお年寄りが参加、委員会活動の中心でもある

メンバー手作りのバランスのとれた弁当がお目当てのお年寄りが多いが、歌や折り紙など出席者全員で楽しめる催しも好評。「皆に会って話すのも、ささやかな楽しみなんです」としばしば重心に帰り、無邪気な笑顔をのぞかせる。

このほか、新聞が抜き取られてお年寄りに読んでくれる一人暮らしのお年寄りの見守り活動や作業所運営にも協力しており、支援が必要なお年寄りの家で家事サービスを手掛けたこと

こうした先進的かつひたむきな試みは広く注目を集めており、各種の講座や発表会で活動内容を報告する機会を与えられている。高齢化が進み、介護保険制度の導入も迫る中、委員会の活躍の場はさらに広がろうだ。

（辺）